

第5次鈴鹿市総合計画 みんなで築く鈴鹿夢プラン

4月からスタート!

新生「SUZUKA」に向かって 第3期行財政経営計画が発進!

市の全ての計画の基本となる「鈴鹿市総合計画」。その総合計画を構成するひとつに「行財政経営計画」があります。

市制施行70周年を迎える今年、鈴鹿市がめざす将来都市像を実現するために、行政がリーダーシップを持って進める「第3期行財政経営計画」が、平成24年度から平成27年度を計画期間としてスタートします。今回の特集では、その概要を紹介します。

●オール鈴鹿市で策定

平成18年度から開始した第5次鈴鹿市総合計画も、いよいよ最終段階となる第3期を迎えます。

第3期行財政経営計画策定にあたっては、私が直接市民の方の意見をお聞きする「まちづくり意見交換会」を開催するとともにパブリックコメントを実施するなど、市民の方々の思いを大切に計画をつくりあげました。

また、各分野の団体などから推薦をいただいた委員20人で構成する鈴鹿市総合計画審議会(作野史朗会長)を設置し、専門的な見地からのご意見もいただき計画に反映させるなど、オール鈴鹿市で策定したものです。今後はこの第3期行財政経営計画を着実に推進してまいります。



市長 末松 則子

●総合計画ってどんなもの？

■市の全ての計画の基本となる総合計画

総合計画は、将来、自分たちの「まち」をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどんなことをしていくのかを総合的・体系的にまとめた市の全ての計画の基本となるものです。

鈴鹿市は、平成17年度に平成18年4月から平成28年3月までの10年間を計画期間とする「第5次鈴鹿市総合計画 みんなで築く鈴鹿夢プラン」を策定し、将来都市像の実現に向けたまちづくりに取り組んでいます。

■総合計画は三層構造

鈴鹿市の総合計画は、「基本構想」、「行財政経営計画」、「実施計画」の3つで構成されています。

①基本構想

市の将来都市像を「市民一人ひとりが夢や生きがいをもって安心して暮らせるまち すずか」とし、5つの「政策の柱」と、これらを推進するために横断的に取り組む「構想の推進のために」を掲げ、市民と行政が協働して進めていく「政策」を位置付けています。

②行財政経営計画

基本構想を実現するために10年間を3つの期間に区切り、行政がリーダーシップを持って実施していく「施策」と「単位施策」を位置付けています。

③実施計画

行財政経営計画で定めた施策、単位施策を実施するための主要な「事務事業」と、その財源について明らかにしています。

第5次鈴鹿市総合計画の構成と計画期間

